

抜け毛の量が多すぎて怖くなる…
髪の薄い自分が嫌で、ストレスがたまってしまう…
髪の毛のせいで、間違いなく実年齢より高いと思われる…
どんなヘアケア商品を試しても効果がでない…
薄毛（ハゲ）で悩んでいるあなたへ

3週間で 髪の毛の体質を変化させて フサフサ の頭に回復する方法！

を、こっそり教えます…。 Present by Wn-project

髪の毛で悩む人ほど、あることに気づいていません…

私もずいぶんと長い間、ハゲで苦しんできました。

仕事も、恋愛も、人間関係すらも、
髪の毛のせいで、どれもうまくいきませんでした。

「このハゲさえ治れば…」と、

何度もそう思ってきたかわかりません。

私のハゲをなくした、地に足のついた発毛の方法…

あなたの髪が薄くなってしまったのは、

「理由と原因」が存在します。

その原因と理由をハッキリとさせて、

ひとつひとつ、冷静に直視して、

自分の髪質を変化させていくことが大切です。

髪が薄い、ハゲと言われて悩んでいる..

自分の髪の毛のせいで、人生が狂い始めてしまった人を、

少しでも減らしたい想いで、一生懸命書き上げました。

ぜひ参考にして、髪の毛に悩まない人生を、

今日この日から、歩み始めて頂きたいと願っています。



はじめに

■推奨環境■

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。
できない場合は最新のAdobe Readerをダウンロードしてください。(無料)
<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

■免責事項■

- ・本レポートは、その記載内容について保障するものではありません。
- ・本レポートの情報をご利用いただく場合、全て自己責任にてご使用いただきますようお願いします。
- ・本レポートに記載されている内容をご利用いただいた場合に、いかなる損害が発生したとしても、一切の責任を負いかねますのでご了承願います。

■著作権について■

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
下記の点にご注意戴きご利用下さい。
このレポートの著作権はファイブスターズ株式会社に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても
複製、転載、流用、転売、公開等することを禁じます。
このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、
この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、
関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

契約に同意できない場合は、作成者にその旨を通知し、本レポートの返却と削除を求めます。
このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。

著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、
著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

もくじ

1章—髪の毛が薄くなってしまう理由	5
1-1—シャンプーやリンスで髪の毛は死に至る	8
1-2—ストレスを解消する儀式を身につける	9
1-3—髪に悪い「悪習慣」を改める	11
2章—薄毛を治すための心構えと言葉	13
2-1—ハゲを進行させる悪魔の食べ物	16
2-2—薄毛体質を変えるための「30日間」	18
2-3—腸の洗浄が、髪を回復させる	20
3章—たばこ=育毛の阻害	22
3-1—睡眠を優先的に「確保」する	24
3-2—使っているシャンプーを見直す	26
3-3—朝の食事をきちんと食べる	28
おわりに	30

1章—髪の毛が薄くなってしまう理由

薄毛で悩む多くの人は、自分の髪の毛が、
「どうして薄くなってしまったのか？」

その真実を探ろうとしません。

または、ネット上の無料の情報だけを頼りにしたり、
自分の髪質やホルモンや、生活スタイルを無視して、
一瞬で髪の毛を生やそうとしてしまいます。

私自身がそうでした、とにかくあせってしまうのです。

「薄毛になってしまった原因を直視する」

ことが、大切です。

これは、簡単なことではありません。

ですが、これを真剣に読んでくれてるあなたには、
髪の毛のことで、もう悩まないでほしいと言う願いがあります。

ですので、しっかりと薄毛の理由を突き止める、と、
決意し、真剣に読み進めてほしいのです。

薄毛の理由に多いのが「男性型脱毛症」になります。



これは簡単に説明しますと、男性ホルモンが、必要以上に分泌されたり、強まっている人に多い傾向です。

私自身は「おでこがだんだん広くなるような形」で、どんどんと、いわゆる「ハゲ」になってしまいました。

あとは、前からだんだんと抜けていって、まるでカッパみたいだね、と言われるハゲの形があります。

こういった人たちに多いのが「頭皮の油の量が多い」ことです。

よく頭皮を中心に汗をかいてしまったり、頭を洗うときに、自分の頭皮に合っていないシャンプーを使ってしまったりすることです。

私はまず、男性用のシャンプーを使うのをやめて、女性が使うようなシャンプーに変えて、だいたい3週間もしたころに、抜け毛がかなり減りました。

今思うと、これが薄毛の脱却への第一歩だったような気がします。

また、男性型脱毛症の方は、顔も見ただけで油っぽいとわかります。少し汗が出たときに、自分の顔をぬぐってみてください。

どことなく脂っぽい状態であれば、この症状に当てはまる可能性が高いです。

皮脂の分泌が必要以上に多いと単純に毛根に栄養がいきにくくなります。



これはアルコールを過剰摂取していたり、
なんだかんだと理由をつけてお酒を飲む回数が多すぎる方も、
比較的この症状が出やすくなります。

対応策としては、お酒を飲む量と回数を減らしましょう。

そして、それ以上にきちんとしたお水を飲むようにしてください。

できれば「日田天領水」がいいのですが、若干高いので、
まずは天然水を一日500ml確実に飲むところから始めるといいでしょう。





1-1—シャンプーやリンスで髪の毛は死に至る

髪をむやみに毎日洗ってしまう方も、髪の毛にとってはよくありません。

もちろん、会社に勤めている方であれば仕方がないのですが、最悪なのは、夜に洗って朝にも洗う方です。

整髪料を毎日毎日ついている方も、

きちんと落としておかないと、薄毛の原因になります。

また、男性型脱毛症の方は「髪の毛が細くなっていく」傾向もあるため、

髪の毛を洗ったときに、自分の髪の毛が細くなっていたら、危険信号です。

逆に太い状態であれば、この症状は当てはまっていないと思います。

「ストレスが、髪を殺しにかかる」

さて、ホルモンの話に少し戻しますが、男性ホルモンが多くなってしまう原因の半分以上、

下手をすると7割以上は「ストレス」が原因です。

ストレスが強くなってくると、男性ホルモンの量が増えてきます。

そして、体が脂っぽくなってしまったり、

年齢を重ねていくうちに加齢臭になってきてしまうのです。

これは、食生活やお酒の量、タバコの本数、睡眠不足、

運動不足、自分の心へのご褒美などが減ってくると..気づかないうちに、ストレスがたまります。

また、仕事をしたり会社に行くのが嫌であったり、

人間関係のストレスなども、ホルモンバランスを乱す原因となります。



1-2—ストレスを解消する儀式を身につける

私は「フサフサダイアリー」と言うものをつけることにしています。
この日記は、決して誰にも見せず公開しないノートです。

なので髪の毛に関して、ネガティブなこと、感じていること、
思っていること、すべて赤裸々に書くのです。

最初はどんな嫌なことを書いても構いません。

ですが、約束ごとがあります。

「最低3ヶ月は、このノートを絶対に自分でも見ないこと」

「毎日必ず15分、このノートには何かを書くこと」

「最低1日1ページは何があっても書くこと」

「パソコンを使って書かないこと、手書きで書くこと」

これが決まりです。



これは本当にお金もかからず、相当なストレス解消になります。

そして、薄毛と言う理由でどれだけ心にダメージを、
負っていたかがかなり理解できるので、やってみてください。

ストレスでもっとも多いのは、人間関係によるものですが、
これも、フサフサダイアリーに書いてもOKなのです。

大切なのは、日記ではいくら悲観的でネガティブなことを、
書いてもいいのですが、リアルではそれをなるべく逆転させるように、
心がけていくのがポイントです。

朝、ほんの少し体を動かしてストレッチをしてみたり、
ウォーキングをしてみたりするだけでも、気分はまったく違います。



1-3—髪に悪い「悪習慣」を改める

薄毛に悩む人の8割が「お肉好き」です。

一週間の食事を一度、紙に書いて見直してみてください。

「髪をダメにする、3つの悪飲食」

お酒、お肉、ビールは髪にとって悪魔だと考えてほしいです。

薄毛だけで留まればまだいいですが、
そういった食生活を十年以上続けてしまうと、
本当に身体には大きな「痕」を残してしまうこともあります。

私が尊敬しているセールスパーソンの先輩がいるのですが、
彼は70kgから100kgに増え、心臓が肥大し、
発見が遅くなれば命を落としていた、と話してくれました。

彼もまた、私ほどではないですが薄毛だった人です。

健康も薄毛も、一度失ってやっと気づくものです。

一時的な食事の快楽に身をゆだねるよりも、
髪を取り戻すためにも、なるべく野菜をとるようにしてくださいね。

おすすめはジュースを作るのがいいです。



リンゴ、レモン、オレンジ、バナナなどのフルーツを2~3種。

ブロッコリー、にんじん、トマトなどの野菜から2種。

それに新鮮なハチミツを加えるだけで、
かなりおいしいジュースが作れます。

これを取り入れてから、集中力が格段に増え、
髪の太さが私は変わりました。

そして、朝の食事はほぼ野菜中心になって、
仕事の能率も飛躍的によくなったのでおススメです。

面倒な方は、大好きな果物1種類だけ入れて、
試しにジュースを作ってみてください。

夜のビールを飲む回数を、減らしたくありますので。

結局、偏った食生活と言うのは「腸」にダメージを与えます。

大量に食事をとると、消化までに時間がかかりますよね?

昼食のあと、20分たっても仕事モードに戻せない方は、
ほぼ間違いなく、腸が疲れています。

そして、腸だけでは補いきれないダメージが、
髪の毛の栄養を奪ってしまうのです。

なので、少しずついいので健康に意識を向けることです。
毎日新鮮な水を飲むことは、誰にでもできますよね?

あなたの体を、もう少しだけ勞わってあげてください。

2章—薄毛を治すための心構えと言葉

薄毛と言うのは、はっきり言ってしまえば、
年齢を重ねていけばいくほど、何もしなければ進行します。

これは私たちのような、髪の毛で悩まない人たちには、
一生わからない悲しい問題でもあるのです。

年齢を重ねて年をとると言うのは、
簡単に言うと「体質に変化」があります。

- ・疲れやすくなつた
- ・徹夜ができなくなつた
- ・お酒が抜けなくなってきた
- ・体力が低下したのを感じる
- ・階段一段飛ばしができなくなつた

などなど..

結論から言うと、薄毛になってしまった時点で、
髪の毛は、私たちに訴えてきているのです。



「もっと僕ら(髪の毛)を大切にしてよ」と。

人間の体質が変わるために大きいのは、言葉の力、がかなり多く占めています。

「どうせ俺はハゲなんだ」

「どうせ俺は髪型を作れるほど髪がない」

「何をしたってハゲだからモテる要素がない」

私はとにかく、自分の髪質を恨んでいましたし、
普通に髪をはやしている男たちを憎んでいました。

そして、ことあるごとに上記のような言葉を、自分で浴びせていたのです。

髪の毛が抜けるのには、必ず理由があります。

体質、年齢、髪によくないこと、髪によくない言葉..

ダイエットがうまくいかない人ほど、

「どうせこれを食べたら太るんでしょう」と、
自分の口に入れているものに対して、不満と文句を言います。
薄毛で悩む多くの人たちには、自分の髪を尊敬できていません。

だからこそ、自分の口で髪の毛を攻撃していることに、
自分一人では、なかなか気づくことが難しいのです。

ここでしんどいとは思うのですが、

自分の髪を傷めつけていたのは
自分の責任だったかもしれない…

と、認めることができれば回復させることは可能です。

私は誰かどうみても、完全なハゲ一直線でしたが、
今ではかつらをつけることなく、
髪の毛がきちんと生えるようになりましたから。



2.1—ハゲを進行させる悪魔の食べ物

これはもう簡単です。

「脂っこい食事」ですね。

ラーメン、カツ丼、てんぷら、からあげ..

これをビールと一緒に食べている回数が多かったりすると、
もう、髪をいたわる気持ちは一ミリもありません。

自分の髪の状態を客観的に観察するには、
一度そういった専門医や、髪の毛の専門家に診てもらうことです。

そうすると、再起不能な言葉をかけられるはずなので、
そこでやっと、自分の食生活を見直すようになるのです。

私の食生活を見直したところ、

だいたい週に3回は、あぶらっこい食事を食べていました。
仕事をしていて、いちいち体にいいものを食べようと言う
習慣がそもそもなかったのですが、それが大きな間違いでした。

脂をとると言うことは、体内に脂をためるのと一緒にです。

「あなたの食生活を一度、見直してみてください」



そして、それがきちんと消化できなくなってきたて、
体内の脂が、髪の毛にまで移動を始めるのです。

わかりやすく表現するならば、

火を通した「油」を髪の毛にかけていると考へてみてください。

どう考へても、髪の毛にいいはずがありませんよね？

「ほ、僕は育毛剤をつけてるから大丈夫ですよ」

と言う方もいらっしゃいますが、これは大丈夫ではありません。

脂をとることで、きちんと育毛剤の役目を果たさなくなるんですね。
脂が多い髪の毛と言うのは「浸透力」が死んでいます。

ですので、油の中に育毛剤を混ぜているようなものなのです..

2.2—薄毛体质を変えるための「30日間」

野菜を食べる習慣をつける。

これはハッキリ言って、居心地は最悪です。
特に今まで、肉料理中心にしてきた人は特に。

「肉類、あぶらっこい食事を絶対とらない」

と、頑なに決めるのではなくて、

あなたが例えば、週に4回脂(肉食)料理を食べているとしましょう。
そうしたら、一週間かけてそれを3回に減らしていくのです。

そして次に、一週間かけてそれを2回に減らす。
もしここで失敗したら、回数ではなくて食べる量を減らす。

こうやって一ヶ月もやっていけば、
肉を食べたいと言う麻薬のような感覚が薄らいできます。

そして、野菜をちょっとずつ食べるようになればいいのです。

「でも野菜料理を食べたり、作ったりするのは面倒です」

そんな人は、最初にコンビニで売っている、
あなたが好きな野菜ジュースを朝に飲むようにしてください。



本当は前章で述べたように、野菜ジュースを、
自作してほしいのですが、最初から無理する必要はありません。

ただ実際に、野菜を食べたりする習慣をつけたり、
普段食べている料理の、肉類を減らしていくだけで、
日常や仕事、あらゆるところで「いい変化」を感じます。

同時に、自分の髪にハリが戻ってくるようになります。

**個人差はあるでしょうけど、一ヶ月真剣に、
食生活を見直すだけで「薄毛体質」が変わりますよ。**

一気に髪の毛の量は増えませんが、
自分の髪質に自信を持てるようになります。

そうすると不思議なもので、
もうこれでハゲの悩みがなくなるかもしれない、
思いこめるようになるんですね。

そうなったらしめたものです。

2-3—腸の洗浄が、髪を回復させる

髪の質が悪くなつて、薄毛体质になつてゐる人は、
便秘ぎみ、痔、下痢が多い方が結構います。

私はと云ふと、ハゲ+痔と言う最悪なコンボだったのですが..

これはどうしてだろう? と思ったときに..

「腸が汚い」という事実を知つたのです。

便の回数が3日に一度であつたり、
一日に複数回の便通がない方は、腸が「確実に」汚れています。

お腹がはつたり、食後何もやる氣がでない方も、
消化機能が普通の方と比べて死んでいる可能性があります。

腸内で消化できなかつたものは、宿便として、
腸の中にたまつていきます。

そして、その汚れは私たちの手足、口、
はては髪の毛まで、汚染してしまうのです。

なので、薄毛だと髪に責任を負わせる前に、
自分の腸はキレイなのかな、と考えてみてください。

腸をキレイにするためには、



- 朝一番で、うがいをして新鮮な水を300ml飲む
- そこから軽めの運動を30分間行う。
- また水を飲み、野菜ジュースを飲む

これだけの習慣を身につけるだけでも、
腸はだいぶ活発に動くようになりますし、
消化機能が目に見えて復活していることを感じるはずです。

そうすると、髪の負担はぐっと減っていくのです。

また、水や野菜ジュースを飲むときに、
歯を動かして、そしゃくするようにするとなお効果があります。

普通に食事を食べるときでも、なるべく噛むことを、
意識づけていくといいですね。

お肉をなるべく食べないようにすると、
血液の流れがよくなっています。

一度自分で食べている肉の量を見てあげてください。

驚くぐらい、私たちの体に肉を入れていることに驚くはずですよ。

3章—たばこ=育毛の阻害

正直、私自身が一日2箱吸うヘビースモーカーだったので、ここは本当に、厳しかったです。

ですが、たばこをやめた今だから言えます。

本気で真剣に育毛したいなら
たばこは絶対にやめたほうがいいです

どうしてタバコを吸ってしまうのかと言うと、
ストレスを抱えているから吸ってしまう人が、
おそらく大半ではないのかなと思います。

(無意識でストレスだと思っていない方も多いですが...)

たばこをどうしても吸いたい方は、
育毛をすることを諦めた方がいいです。

基本的に、育毛できない人は、
身体によくないことを「しすぎている」傾向が強いです。

たばこは血管の働きを鈍くしますし、血行も悪くします。
さらには体の体温を低下させますので、いいことはひとつもないです。



私がタバコをやめようと決意したのは、
お医者さんに言われたのと、我が子からの苦情でした。

数年以上吸ってきたものを、やめるのは本当に、
最高に居心地が悪かったのを、今でも思い出せます。

ですが、たばこをやめたことで、
髪の毛にはすごくよかったです。

まず、髪質が太くなつて明らかに抜け毛が減りました。
タバコを吸っていたから、ストレスを感じやすかったのかなと今では思います。

たばこを吸うだけでビタミンCを壊す働きがあります。

一度、たばこの吸い殻のカスをゆでてから、
自分の頭にふりかけてみたいか？ と問いかけてください。

髪にとっては、それだけ深刻なことをしているのです。

あとは、深酒や日本酒を日々飲む方も要注意ですよ？

血糖値があがり始めると、髪にも悪い汗をかくようになります。
当然そうなると、抜け毛が増えていくのはご理解頂けますよね。



3-1—睡眠を優先的に「確保」する

次に多いのが「睡眠不足」です。

私たちが年齢を重ねれば重ねるほど、
運動と睡眠を、かなりないがしろにしてしまいがちです。

…仕事だからしょうがない

…付き合いがあるからしょうがない

…疲れているから運動なんてする暇はない

本気で育毛したいのであれば、睡眠時間は、
何よりも優先してとる必要があります。

最低でも6時間は寝てください。
できれば7時間、本当なら8時間は寝てほしいですね。

もちろん仕事が忙しい方は、8時間寝るのは難しいと思いますので。

22時～3時は、間違いなく
何があってもなるべく寝るように努力してください

どうして睡眠が大切なのか？ と言うと..



睡眠によって、各臓器の免疫機能を高めます。

睡眠不足によって、臓器の免疫が弱ってくると、
すぐに髪の毛に「悪い変化」が起きてきます。

これは一度、徹夜なりをして自分の髪の毛を、
さわってみてください。

睡眠が不足してくると、臓器の回復が遅れます。

そうなると、臓器のかわりに身代りになるのが、実は髪の毛なのです。

年をとるにつれて「風邪」をひきやすくなってきた方も、
髪にとってはよくありません。

風邪をひくほど弱っていると言うことは、
通常よりも相当、髪の毛も弱っているのです。

睡眠と言うのは、髪質や髪の毛をケアするために、
必要な時間なのです。

だからこそ、22時～3時までは眠るようにしてください。

0時以降に寝ている人は、まずは30分早く寝てあげてください。

髪の毛が一本もなくなってしまっても、自信を持って生きていけるならば、
別に今まで通りの生き方で構いません。

ですが、そんな方はこのレポートをおそらく読んでいないはずです。
睡眠を大切にして、髪を労わってあげてください。

3-2—使っているシャンプーを見直す

薄毛やハゲで悩む人の話を聞いていて思ったのは..

シャンプーを適当に選んでいたり、
自分の頭皮にまったく合っていないものを選んでいる方が、
すごく多いと言うことです..

1,000円以下のシャンプーを使っている方は、残念ながら論外です。

どうせどんなシャンプーや育毛剤を使っても、
効果がないからと諦めていませんか？

きしみを感じることがあったり、
髪がなんだかベタついたりしてしまうシャンプーを使っているなら、
今すぐそれをやめてください。

**きちんと知識のある方に相談して、
あなたに合ったシャンプーを見つけることが大切です。**

髪の洗い方も注意してくださいね？

筋トレをされたことがある方であれば、
運動をした後は、プロテインを飲むと、
筋肉がつきやすいことはご存じですよね。

しかしこれが、髪の毛になると..

夜疲れたから、仕事が遅くなったからと言って、
髪の毛を洗わないまま、寝てしまう方がとても多いのです。



むろん、私自身も昔は夜に髪の毛を洗うことを、かなりの間、怠っていました。

すでに薄い髪の毛を、夜に洗ってしまったら、余計に痛むと違いないと思いこんでいたのです。

実際は、夜に洗わずに汚いまま寝てしまうから、髪を育てる妨げをしてしまっているのですね。

「毛穴の汚れ=髪の毛の呼吸をふさいでいる」

毛穴が汚れていると言うのは、
髪の毛の呼吸をふさいでいるのと同じです。

私たち人間が、口と鼻を強力な男数人に囲まれて、一切呼吸ができなくなったら、どうなるでしょうか？

死に至ってしまいますよね？

髪の毛が汚れていると、呼吸ができなくなるのです。そして髪の毛が抜ける、死へ歩んでしまうというわけですね。



3-3—朝の食事をきちんと食べる

このレポートには何度も、野菜ジュースを勧めてきました。
と言うのも、気軽にとれて髪にいいからおススメしているのです。

会社が忙しかったりすると、朝食をとるのって結構面倒ですよね?

夜寝てから、朝を抜いて昼に一気に肉料理などを食べると、
胃にどかんとたくさんのものが流れこんできます。

イメージすると、大量の食事をとった後に、
全力で200メートルをダッシュするようなものです。

そうなると当然、胃はびっくりしてしまいますよね?

ですので、髪を健康にしていくためにも、
朝、朝食を軽く食べると言うことはとてもいいことなのです。

朝にいきなり重たい肉料理であったり、
脂が多いものを、外食などやファーストフードで食べてしまうと..

一日の始まりから、髪の毛をいじめていることになります。

栄養をとらずに、食事を偏ったりしたメニューを、
ずっと続けていると、髪の毛に栄養が回らなくなります。

薄毛の人は、特に自分の髪の毛に対して、
リスペクトすることが、なかなかできません。



「どうせ今から何をしたって、このハゲは治りっこない」

そうやって自分を責めるのは、もうやめにしませんか？

栄養のあるものをしっかり食べるようとするだけで、
一日の集中力や効率は、段違いになります。

朝の食事を楽しんで、あなたの体はもちろん、
髪の毛にも、最良の栄養を与えてあげてください。

こういったところを改めていくだけでも、
あなたの髪の毛は、しっかりと生えるようになるのです。



おわりに

私が髪の毛で不安を感じはじめたのは、30歳になる直前のことでした。

なんだか髪の毛が最近痛かったりするな、と思っていたら、
どんどんと抜け毛が増えてきたのです。

髪の毛を洗うと、一度では流れないぐらいに抜けて、
明らかに頭皮が見え始めてきたのを見たとき、ゾッとした..

私の家計に髪の毛が薄い人は誰もいないのに、
どうして俺だけが！ と、怒りが止まりません。

当時付き合っていた恋人とも、

「私、ハゲはちょっとダメかもしれない…」と、

2年以上も交際をしていたのに、あっけなく別れてしまいました。

いろんなサプリメントや育毛剤、
あらゆるシャンプーを試したりしてきました。

それでも、結果は変わらず。

そんなときに、私は育毛のアドバイザーに出会いました。

女性だったので、最初はすごく怯えていたのを、
まるで昨日の出来事のように、思い出すことができます。



私は彼女の「ハゲ治療」に対する姿勢、熱意、感情、知識、経験などに圧倒され、的確なアドバイスを受けることができました。

先生から教わったこと、すべてをここに記すことはできなかったものの、このレポート内に書いてあることだけでも、抜け毛はかなりおさまるはずです。

なぜなら私自身がすべて、実践してきたからです。

仲のよいハゲ友人たちには、今でもこのレポートを、配布することもあります。

私自身が本当に薄毛、抜け毛で悩んできて、ハゲと言われてきて死にたくなったりもします。

だからこそ、薄毛やハゲで悩む人を、一人でも助けたかった気持ちがあります。

ハゲと言うのは本当に大きい悩みであり、問題であり、同じ経験をした人でないと、気持ちちは絶対に理解してもらえません。

私がもし、アドバイザーの方に会ってなったらと思うと..

本気でずっとします。

何よりも自分がハゲだったのは、他人のせいでも、先祖のせいでも、友人のせいでもありません。

すべて、自分が引き起こしたことなのです。



このレポートに書いてあることを、バカにしても構いませんが、一年間あらゆるハゲの治し方を実践した後に、もう一度だけ、戻ってきて頂きたいのです。

それが、本当の素直さであり、ハゲを治す道につながります。

今後、ハゲや薄毛に関する知識や、コンテンツなどは、私のメールマガジン内で、復習もかねて、お伝えしていこうと思っています。

まずは、このレポート内に書いてある、たったひとつでも構わないので、生活の何かを変えてみてください。

髪が薄くなる原因のほとんどは..

「あなたの体への、サインなのです」

一気に変えようとすると、難しいと感じてしまうかもしれません、髪をよみがえらせる、と言うことは簡単ではありません。

失った恋人と復縁するのが難しいように、髪の毛もまた、失ったものを戻すには多少の時間がかかるのです。取り組めるところから、取り組んでみてください。

メールマガジンも楽しみに待っていてください。
【髪をフサフサにする秘密】と言うタイトルが毎回入り、
メールの発行者は【中】と言う名前で配信します。

それでは、最後までお読みくださって、本当にありがとうございました。

